

◇関連質問

・平和をめぐる情勢は、いまだ厳しい
(市民連合)

市民病院の入院病床の増床を
(市民連合)

問 がん患者の増加や多様化する医療需要に対応し、緩和ケア科をはじめとする病床の増床が、市民病院にとって喫緊の課題。どのように検討し、対応しているのか。



地域の中核病院として地域医療水準の向上に努めている市民病院

答 緩和ケア病床の増床については、地域がん診療連携拠点病院

として、喫緊の課題であり、当面現在の病床運用を見直す中で確保する。また、耳鼻科や眼科、泌尿器科などの市民病院への集約化も着実に進んでおり、医師などのスタッフの充実とともに、患者数や手術件数も年々増加しており、現在の施設規模では不十分。今後、県など関係機関とも協議し、外来化学療法室や内視鏡室などの整備計画と併せ、100床程度の増床を検討する。

◇関連質問

・地域医療体制の堅持について
(明公会)

舩港埋め立て架橋計画の再考を
(日本共産党)

問 ①この事業で得られる利益と、観光で生み出される経済効果は。②通常2カ月の免許願書の審査が遅れている理由は。③埋め立て工事期間中の10年間で観光に与える経済への影響は。④埋め立て架橋計画の再考を求める。

答 ①県の試算では、総便益は40年間で90億円。2007年の観

光消費額は、約109億円。②国から30数項目質問され、得られる利益と失う利益の比較、トンネル案と埋め立て架橋に至る経過、フェリー化、港湾整備などの具体的な説明の整理中。③工事期間10年間の観光事業効果については、数値化や検討はしていない。④早期実現に向け、今後も全力で取り組む。

◇関連質問

・早期着工を図るべき
(市民連合)

市営住宅の現状は
(公明党)

問 ①市営住宅の管理戸数の本市と中核市の状況は。②募集状況で申し込み倍率と傾向は。③空き家のうち維持補修が必要な戸数と、今後の維持補修計画は。④随時募集住宅がより円滑に活用されるような対策や、利便性向上の取り組みは。

答 ①20年4月1日現在で3229戸。中核市の中では、本市の全世帯数に占める市営住宅管理戸数の割合は、平均をやや下回っている。②倍率は8.9倍で、団地

別では、立地条件や建築年により偏りがある。③維持補修が必要な空き家は、約170戸。今後は、市住宅政策実施計画に基づき計画的に空き家補修を実施する。④随時募集住宅については、広報紙などで周知を図り、外壁改修などが必要な住宅は、住環境整備に取り組み入居者の確保に努める。

下水道事業について
(水曜会)

問 生活排水の処理は、環境面や文化的生活を営むためにも早急な改善が求められているが、市街化調整区域の効率的な污水处理施設についてどのような考えを持っているか。

答 市街化区域外の污水处理は、国が示す「統一的な経済比較マニユアル」に基づきコスト比較を行い、集合処理方式の公共下水道などによる整備区域、個別処理方式の合併浄化槽による整備区域を定めている。長期的視点に立った費用対効果の分析を行い、地域特性を踏まえ整備手法を検討し、23年度までには、適正な污水处理計画の見直しをする。

※緩和ケア：がん治療の初期段階から行う、身体的・精神的な苦痛を和らげるための医療。